



## 3年生環境科学科「ディベート本戦」2戦目！

環境科学科3年生「SS探究科学Ⅲ」の授業では毎年、**ディベートの成果発表会（ディベート本戦）**を行っています。ディベートは、ある論題（テーマ）について、肯定派と否定派が議論を繰り広げ、その議論を聞いていた第三者が審判となり、どちらがより説得力があるかを判定します。ディベート学習を通して、論題背景や発言内容等の理解力、発言内容を客観的に分析する力（批判的思考力）、自らの考えを的確に効率よく伝える伝達力等が身に付きます。今年度は、『日本は救急車の利用を有料化すべきである。是か非か。』、『日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か。』、『日本は防犯カメラによる顔認証システムを法制化すべきである。是か非か。』の3つの論題でディベートに取り組んでいます。

10月18日（水）、『**日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か。**』についてディベートの本戦を行いました。審判には2年生普通科文系の生徒が参加しました。当日は、非常に白熱した論戦が繰り広げられました。



以下、審判に参加してくれた2年生普通科文系の感想です。

『質疑の予想も考えておくこともスムーズに進められるポイントなのかなと思ったので、私たちが次からまた頑張っていきたいです。』『3年生の鋭い質問や良い返しがあり、論理的に考えてものを言っているのがすばらしく、自分には欠けていると感じた。』『今回3年生のディベートに参加し、レベルの高さに驚きました。』『圧倒的なディベートを鑑賞できたことによって、今後の私たちの理想像が見えたので、ディベートに対するモチベーションが上がりました。』『話し方も工夫していて内容がよくわかった。』